

# 2025年度《人工知能科学研究科》 修士論文・研究報告書のWeb提出について

以下を熟読し指定された期間内に必ず提出すること。

## 提出期間・時間・場所

【仮提出】12月5日（金）9:00～9日（火）17:00<締切厳守>

日付	受付時間	提出場所
12月5日（金）	9:00～	「Canvas LMS」（Web） <a href="https://canvas.rikkyo.bownet.cloud/login">https://canvas.rikkyo.bownet.cloud/login</a> ※システムにログインして提出処理を行う。 （詳細は「Canvas LMS操作マニュアル」参照）
12月6日（土）	24時間提出可能	
12月7日（日）		
12月8日（月）		
12月9日（火）	～17:00	

※ 締切に関する日時はすべて日本標準時（JST）を基準とする。

【本提出】2026年1月8日（木）9:00～13日（火）17:00<締切厳守>

日付	受付時間	提出場所
1月8日（木）	9:00～	「Canvas LMS」（Web） <a href="https://canvas.rikkyo.bownet.cloud/login">https://canvas.rikkyo.bownet.cloud/login</a> ※システムにログインして提出処理を行う。 （詳細は「Canvas LMS操作マニュアル」参照）
1月9日（金）	24時間提出可能	
1月10日（土）		
1月11日（日）		
1月12日（月）		
1月13日（火）	～17:00	

※ 締切に関する日時はすべて日本標準時（JST）を基準とする。

## 「Canvas LMS」操作マニュアルについて

「Canvas LMS」の操作については、各自で必ずマニュアルを確認すること。

- ① 「Canvas LMS 学生用マニュアル」（「Canvas LMS」全体のマニュアル）

[https://helpdesk.rikkyo.ac.jp/canvaslms\\_stu](https://helpdesk.rikkyo.ac.jp/canvaslms_stu)



- ② 「Canvas LMS」における修士論文の提出手順（簡易版）

<https://s.rikkyo.ac.jp/canvasc019>



< 「Canvas LMS」の操作に関する問合せ先 >

メディアセンターヘルプデスク

※詳細は、以下のSPIRITメディアセンターページで確認すること。

<http://s.rikkyo.ac.jp/helpdesk>

※時間的余裕をもって問い合わせること。



## 提出物について

### ①提出物

修士論文 または 研究報告書

### ②提出形式

PDF形式

※ファイル名は「学生番号\_氏名\_提出日（西暦の日付）」とすること。

例）24VR999A\_立教太郎\_20251205

### ③表紙・本文

以下のOverleafの閲覧用リンク先データを参考にすること。

その他の詳細は、指導教員の指示に従うこと。

<https://www.overleaf.com/read/htgikgxxtwrc#Ocf47d>

### ④最終審査

修士論文・研究報告書審査会の最終審査（口頭試問）は、1月下旬に実施する。

詳細については、SlackおよびR Guideを確認すること。

### ⑤論文審査手数料

所定の単位を修得後、在学2年を超えて引き続き在学し、修士論文・研究報告書を提出する場合には、論文審査手数料を納入する必要がある。具体的な納入方法・金額については、大学から指示する。

## 学校感染症のため出校停止となった学生の修士論文・研究報告書の提出について

出校停止となった場合でも自宅等からのWeb提出が可能であるため、**いかなる代替措置も認められない**。必ず提出期間内に提出すること。

→次ページの **提出方法と注意事項** も確認すること。

## 提出方法と注意事項

**修士論文・研究報告書は、指定された期間以外では理由の如何にかかわらず一切受け付けないので十分注意すること。**

- ① Webでの提出状況（提出の有無）は、「Canvas LMS」におけるIDをもって判断する。必ず自らのV-Campus IDでログインした状態で提出すること。
- ② 提出資格を有している学生に対してのみ、「Canvas LMS」上に当該修士論文・研究報告書提出用のコースが表示される（下記③参照）。
- ③ 「Canvas LMS」へのログイン後に表示される修士論文・研究報告書提出用のコース画面を開いて提出（アップロード）すること。それ以外での提出方法（指導教員へのメール送信等）では一切受け付けないので十分注意すること。  
※提出期間前に「Canvas LMS操作マニュアル」を参照するなどをして、事前に提出時の手順を必ず確認しておくこと。
- ④ 「Canvas LMS」のコース機能を利用するにあたっては、本学による類似性判定支援ツールの使用に関する提出者からの事前の同意が必要となる。同意の詳細については以下のページで確認すること。なお、修士論文・研究報告書の提出においては、上記同意に時間を要したことを理由とした提出期間後の提出は一切認められないので、十分余裕をもって提出すること。  
[※「類似性判定支援ツールの使用について」](#)
- ⑤ 提出する際のファイル形式（拡張子）に指定（制限）がある場合、指定以外の形式では提出できないので注意すること。
- ⑥ アップロードするデータのファイル名称は、任意のものとする。ただし、掲示等を通じて研究科より別途指示があった場合は、その指示に従うこと。
- ⑦ 提出された修士論文・研究報告書は、「Canvas LMS」に表示される提出用のコースを通じて提出された内容により審査されるので、提出先のコースを間違えることがないように十分注意すること。また、提出用のコースには審査対象となるデータ以外をアップロードしないよう注意すること。
- ⑧ **提出用コース内で「課題を提出する」をクリック後、自身の通信環境によって提出完了まで時間がかかることがある。**「課題を提出する」をクリックしていても提出締切時刻までに提出が完了していない場合は提出と認められないため、時間に十分余裕をもって提出すること。提出状況の確認は下記⑨を参照すること。
- ⑨ **提出用コース内で「提出しました！」と表示されていない場合は、理由の如何にかかわらず提出期間内に修士論文・研究報告書が提出されなかったことを示している。**修士論文・研究報告書提出後、「Canvas LMS」提出用コース内の画面表示が「提出しました！」となっていることを必ず確認すること。
- ⑩ Web提出では、自らの提出状況や提出後のデータ内容を確認することができる。十分余裕をもって提出し、それらを確認すること（**文字化け、ファイルの破損等を理由とした提出期間後の再提出は一切認められない**）
- ⑪ 提出期間内に限り、修士論文・研究報告書のデータは同一の提出用のコース内で複数回提出することができる。ただし、最後に提出されたものが審査の対象となるため、提出（再提出）は各自の責任によって十分注意して行うこと。  
※再提出によって自動的にデータが上書きされるわけではない。提出したデータ内容を必ず確認すること。
- ⑫ **通信上のトラブル（インターネットに接続できない等）や電子機器上のトラブル（処理速度が遅くなった等）を理由とした提出期間後の提出は一切認められないので、十分余裕をもって提出すること。**
- ⑬ 提出期間前にあらかじめ安定した通信環境を確保し、十分準備すること。  
※有線接続した通信環境を推奨する。うまく提出できない場合には、十分余裕をもって、キャンパスのPC教室備え付けのPCを利用する等、自身の責任において通信環境を確保すること。
- ⑭ 自身の責任において用意した通信環境（大学PC教室含む）に起因する通信上のトラブルや電子機器上のトラブルをWebシステム（Canvas LMS）の不具合であると誤認しないよう十分注意すること。大学の環境に起因するシステム遅延等でWebシステム（Canvas LMS）に不具合が発生した場合のみ、大学からその事実および締切延長措置等の対応を伝達する。

### ◆ 締切日に事件、事故に遭遇したら・・・

事件・事故など「不測の事態」により、本人が提出期限までに修士論文・研究報告書を提出できない場合は、当日の締切時刻以前にその対応について所属キャンパスの教務窓口にお問い合わせ、指示を受けること。

※「不測の事態」とは、事件、事故などの場合であり、機器（パソコン等）の故障、通信上のトラブル、データの紛失などは含まれないので注意すること。

**修士論文・研究報告書は、時間に余裕をもって提出すること。**